

# 令和2年度九州工業大学免許法認定公開講座「情報」 受講生募集案内

九州工業大学では、教育職員免許法別表第3備考第6号および教育職員免許法施行規則第43条の5の規定による免許法認定公開講座を開講します。当公開講座では、高等学校教諭一種免許状または専修免許状を有する方を対象に、高等学校教諭一種免許状(情報)を取得するために必要な科目を開設します。

※ただし、2年間を通したカリキュラムとなっているため、免許状の授与資格を取得するために必要な単位を揃えるには、最大2年間受講する必要があります。

## 【免許法認定公開講座とは】

一定の教員免許状を有する現職教員等が、上位の免許状や他の種類の免許状を取得しようとする場合に、大学の教職課程によらずに必要な単位を修得するために開設されている公開講座です。

## 開設科目等

No.	開設科目名 (授業科目)	授与 単位	日数	受講料	受講定員	備考
1	情報社会と教育	2	4日間	10,200円	30人	
2	情報倫理	2	4日間	10,200円	30人	
3	プログラミング(*1)(*2)	2	4日間	12,200円	30人	実習有
4	計算機システム	2	4日間	10,200円	30人	
5	情報ネットワーク	2	4日間	12,200円	30人	実習有
6	コンピュータグラフィックス	2	4日間	12,200円	30人	実習有
7	情報職業論	2	4日間	10,200円	30人	
8	教科教育法(情報) I	2	4日間	10,200円	30人	

(\*1)「情報リテラシー(計算機・ネットワークの使用法などの基礎的知識)」の内容を前提に授業を進めます。希望者は、別途開講される情報教育支援士養成講座の「情報リテラシー」、「プログラミング入門Ⅰ及びプログラミング入門Ⅱ」(1科目受講料9,800円)を事前に受講することが可能です。

新型コロナウイルス対策のため、「情報リテラシー」、「プログラミング入門Ⅰ及びプログラミング入門Ⅱ」はオンライン講義となる予定です。自宅にPCとインターネットの接続環境が必要となります。

(\*2)受講条件：自宅にパソコンがあり、インターネット接続及びレポート作成可能な環境があること

## 開催場所

- 九州工業大学飯塚キャンパス(飯塚市川津 680-4)
- 九州工業大学サテライト福岡天神(福岡市中央区天神 1-7-11 イムズビル 11階)

※2つの会場をネットワークで中継します。

## 受講資格

他教科の高等学校教諭一種免許状又は専修免許状を有する方

## 申し込み・問い合わせ先：

九州工業大学 情報工学部 教務係 (〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4)

TEL:0948-29-7512 / FAX:0948-29-7517 / Email:jho-kyoumu@jimu.kyutech.ac.jp

## 講習料等必要経費

- 各コースの講習料に別途、振込手数料がかかります。
- 授業科目によっては、テキスト代が必要になる場合があります。(受講決定時にお知らせします。)

## 申込受付期間

令和2年2月17日(月) ~ 4月17日(金) ※消印有効で郵送にて受け付けます。

## 申込み方法

- 申込書類の提出先は、九州工業大学情報工学部教務係です。
- 下記の必要書類を揃えて、郵送にてお申し込みください。なお、書類に不備がある場合は受け付けられない場合がありますので、ご了承ください。
  - ① 受講申込書
  - ② 高等学校教諭一種免許状又は専修免許状のコピー  
(裏面にも記載がある場合は、裏面も提出してください。)
- 申込み多数の場合は抽選となります。
- 受講決定者には講習料振込用紙を発送しますので、事前の納付は絶対に行わないでください。
- 電話等による抽選結果の問い合わせには応じられませんので、ご注意願います。

## 開講式およびオリエンテーション

- 以下の日時で開講式およびオリエンテーションを行います。

日時：令和2年5月10日(日) 10:30~12:30(予定)

会場：~~飯塚キャンパス 研究棟1階 リカレント講義室~~

~~サテライト福岡天神(天神イムズビル11階)~~

~~※2会場を中継します。各自、申込書に記載した希望会場にお越しください。~~

内容：講義で使用する学習支援システム「Moodle」の説明、及び利用者登録等を行います。

※ 時間・会場は変更になる場合があります。詳細は受講者決定後に受講者宛に通知します。

※ 新型コロナウイルス対策のため、今年度の開講式及びオリエンテーションはオンラインで実施することといたしました。詳細は受講決定後に受講者宛に通知します。

## 単位の授与

試験、レポート等による成績評価で合格と判定された場合に単位を授与します。

また、各科目とも総授業時間数の5分の4以上の出席が求められます。なお、大学の通常講義と同じですので、不合格になることもあります。

## 申込書記入上の注意

1. 申込書は楷書でご記入ください。
2. 受講を希望する開設科目(授業科目)右側の受講希望欄に、○印を付してください。
3. ○印の付した受講金額の合計を合計金額欄に記入してください。
4. ※欄は記入しないでください。
5. 申込みは、郵送または持参にてお願いします。

## お問い合わせの前に

下記ホームページに、よくある質問を掲載しておりますのでご参照ください。

<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/faculty/josi/license-law>

## 各開設科目の概要

科目区分	開設科目	科目の概要
情報社会・ 情報倫理	情報社会 と教育	情報社会の構造と特質の理解に基づいて、情報化がもたらす社会構造の変化、及び情報技術の革新がもたらす社会的影響について講義する。また、情報社会の諸課題を解決する情報技術と求められる倫理観についても言及する。さらに、情報社会における教育の変化や情報化について教えるとともに、情報教育や情報セキュリティ確保など教育の情報化におけるICT支援の内容や方法についても扱う。キーワード:情報社会、教育の情報化、ICT支援、情報教育
情報社会・ 情報倫理	情報倫理	高度情報社会における情報の恩恵(光)と問題(影)について、事例を示しながら解説する。また、その情報社会の光と影について適切に対応する知識や技術、態度を習得するための演習を行う。情報倫理に関する事象について理解したうえで、起こりうる問題に対応する知識や技術、態度を修得することを目的とする。キーワード:情報倫理、情報モラル、情報社会の光と影
コンピュータ ・情報処理 (実習を含む。)	プログラ ミング	授業の前半は、C言語の基本的なデータ型と演算、接続・選択・反復の制御構造、入出力を理解し、C言語を用いたプログラム作成技術の習得を目標とする。後半は、最大値・最小値問題や簡単なソートの方法などにより、基本的なデータ構造・アルゴリズムについて学習する。さらには、関数やポインタ、文字列の処理などについて学習する。これらの目標を達成するため、授業は講義と実習を織り交ぜながら行う。キーワード:プログラミング、プログラム、プログラミング言語、C言語
コンピュータ ・情報処理 (実習を含む。)	計算機 システム	計算システムならびに計算機アーキテクチャ(システムの設計・開発に必要なハードウェアの知識)の基本概念、デジタル計算機上での様々な種類のデータの表現方法、算術・論理演算の仕組みを理解させることをその目的として、計算機システムの基本構成・動作原理・機能およびその機能の実現方法等について解説する。キーワード:コンピュータ、プロセッサ、メモリ、情報処理システム、計算機アーキテクチャ、2進数、2の補数、論理回路
情報通信 ネットワーク (実習を含む。)	情報ネット ワーク	情報ネットワークの仕組み、特にネットワークアーキテクチャの意義を理解し、ネットワーク工学の基本を身につけることを目標とする。毎日使うウェブ/メールの仕組みや、ネットワークセキュリティを講義と実習を織り交ぜながら学ぶ。範囲は原理の学習からパソコンのネットワークコマンド操作やウェブページ作成、さらに信号データの解読までを含む。キーワード:情報・通信、ネットワーク、ネットワークセキュリティ
マルチメディア表現・ マルチメディア技術 (実習を含む。)	コンピュー タグラフィ ックス	近年、出版・映画・コンピュータゲームなど、さまざまな分野でコンピュータグラフィックス技術が使用されている。本講義では、コンピュータグラフィックス技術の概要について学習する。また、画像処理実習、及び、3次元CGツールを用いたプログラミング実習を行う。実習を交えながらコンピュータグラフィックスの仕組みを理解するとともに、プログラミングの技術も深めることを目標とする。キーワード:コンピュータグラフィックス、レンダリング、座標変換
情報と職業	情報 職業論	もろもろの情報化社会における職業、労働の有り様について、現実の企業社会で進展している情報化の現局面をふまえて分析していくなかで、将来の生き方や自律した職業生活のあり方等について検討する。 この科目は、情報技術が産業社会におよぼす影響に関心を持ち、責任ある社会的活動をするのできる情報技術者のあり方、職業観、労働観について理解を深めることを目的とする。キーワード:技術革新、情報技術、職業、産業構造、職業教育、情報化社会、労働
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含 む。)	教科教育 法(情報) I	高等学校の教科「情報」では、情報社会とコミュニケーション、コンピュータとプログラミング、情報通信ネットワークなどの情報に関する幅広い知識とともに、コンピュータや情報通信ネットワークを活用する実践力と、情報モラルの育成が必要である。この科目では、高等学校に情報科が設置された背景、各教科・科目の学習目標と内容、他教科との関連、教員に求められる役割等に関する講義を行い、高等学校情報科に関する教育の内容と方法の理解を図る。キーワード:高等学校情報科、教育目標、教育内容、教育方法

# 免許法認定公開講座受講申込書

教科:「情報」

写 真  
(6ヶ月以内のもの)

※の箇所は記入しないこと。		記入日	令和	年	月	日
受付番号	※	直近の 受講年度		年度		
フリガナ		性 別	男 ・ 女	生年 月日	昭和・平成	
氏名					年	月
E-mailアドレス	( 自宅・勤務先・携帯 )					
フリガナ						
住 所	〒 電話 ( ) 携帯					
勤 務 先						
勤 務 先 所 在 地	〒 電話 ( )					

## 受 講 申 込 欄

No.	開設科目(授業科目)	受講 希望	受講金額	備 考
	開講式およびオリエンテーション			* やむを得ず欠席する場合は受講希望欄に「×」を記入すること。
0	情報リテラシー		9,800円	(*1)
	プログラミング入門Ⅰ		9,800円	(*1)
	プログラミング入門Ⅱ			
1	情報社会と教育		10,200円	
2	情報倫理		10,200円	
3	プログラミング		12,200円	(*2)
4	計算機システム		10,200円	
5	情報ネットワーク		12,200円	
6	コンピュータグラフィックス		12,200円	
7	情報職業論		10,200円	
8	教科教育法(情報)Ⅰ		10,200円	
合 計 金 額			円	希望会場(いずれかに○) 飯塚 ・ 福岡

(\*1) 「情報リテラシー」、「プログラミング入門Ⅰ」、「プログラミング入門Ⅱ」は、情報教育支援士養成講座開講分であり、「プログラミング」の受講に必要な基礎的知識を修得することができます。

(\*2) 自宅にパソコンがあり、インターネット接続及びレポート作成可能な環境がある方のみ受講可。